

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成31年2月14日(2019.2.14)

【公開番号】特開2018-197270(P2018-197270A)

【公開日】平成30年12月13日(2018.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2018-048

【出願番号】特願2018-171042(P2018-171042)

【国際特許分類】

A 61 K 31/4184 (2006.01)
A 61 P 9/12 (2006.01)
A 61 P 43/00 (2006.01)
A 61 K 31/4422 (2006.01)
A 61 K 9/20 (2006.01)
A 61 K 9/30 (2006.01)
A 61 K 9/36 (2006.01)
A 61 K 9/32 (2006.01)
A 61 K 47/26 (2006.01)
A 61 K 47/38 (2006.01)
A 61 K 47/02 (2006.01)
A 61 K 47/36 (2006.01)
A 61 K 47/32 (2006.01)
A 61 K 47/12 (2006.01)
A 61 K 47/10 (2006.01)
A 61 K 47/14 (2006.01)
A 61 K 47/18 (2006.01)
A 61 K 47/34 (2017.01)

【F I】

A 61 K 31/4184
A 61 P 9/12
A 61 P 43/00 1 1 1
A 61 P 43/00 1 2 1
A 61 K 31/4422
A 61 K 9/20
A 61 K 9/30
A 61 K 9/36
A 61 K 9/32
A 61 K 47/26
A 61 K 47/38
A 61 K 47/02
A 61 K 47/36
A 61 K 47/32
A 61 K 47/12
A 61 K 47/10
A 61 K 47/14
A 61 K 47/18
A 61 K 47/34

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月11日(2018.12.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a)イルベサルタン、

(b)D-マンニトール及び結晶セルロースからなる賦形剤、並びに

(c)ヒドロキシプロピルメチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース及びポリビニルアルコールからなる群から選ばれる1種又は2種以上からなる結合剤、

を含有する医薬組成物における前記イルベサルタンの配合変化及び/又は色相変化の誘発を防止するための、前記D-マンニトール及び前記結合剤の組み合わせの使用であって、

前記医薬組成物が、(d)アムロジピンまたはその塩、及び、(e)クロスカルメロースナトリウム及び/又は低置換度ヒドロキシプロピルセルロースからなる崩壊剤をさらに含み、

前記イルベサルタンの含量が48.8w/w%~65w/w%であり、前記アムロジピンまたはその塩の含量が1w/w%~10w/w%であることを特徴とする、使用。

【請求項2】

前記医薬組成物が、ステアリン酸マグネシウムである滑沢剤をさらに含む、請求項1に記載の使用。

【請求項3】

前記賦形剤の含量が、10w/w%~50w/w%である、請求項1又は2に記載の使用。

【請求項4】

前記結合剤の含量が、0.01w/w%~10w/w%である、請求項1~3のいずれか1項に記載の使用。

【請求項5】

前記崩壊剤の含量が、1w/w%~20w/w%である、請求項1~4のいずれか1項に記載の使用。

【請求項6】

前記医薬組成物が、フィルムコーティング層をさらに含む、請求項1~5のいずれか1項に記載の使用。

【請求項7】

前記医薬組成物が、黄色三二酸化鉄及び/又は酸化鉄からなる着色剤をフィルムコーティング層にさらに含む、請求項6に記載の使用。

【請求項8】

前記医薬組成物が、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、酸化チタン及び/又はプロピレングリコールからなる群から選ばれる1種又は2種以上を前記フィルムコーティング層にさらに含む、請求項6又は7に記載の使用。